



# ワーカーズ・コレクティブ共済だより

2013年 2月号



発行 ワーカーズ・コレクティブ共済株式会社

## ごあいさつ

新しい年となり、早いものですでに1か月が過ぎました。

2012年、ワーカーズ・コレクティブ共済（W.Co 共済）は少額短期保険として再出発しましたが順調に事業を遂行できましたのも皆さまの多大なご支援・ご協力の賜物と感謝しております。

昨年は神奈川県外も含め多くのワーカーズ・コレクティブを訪問しましたが、制度説明を行えば行うほど W.Co 共済が、ワーカーズ・コレクティブという組織・働き方を支える要の存在であるということを改めて確信いたしました。

地域を暮らしやすく、より豊かなものにつくり・かえていくことをめざしているワーカーズ・コレクティブは、働き方も一人ひとりの生活を大事にした人間らしい働き方をめざしています。現在も労働環境は厳しさを増す一方ですが、ワーカーズ・コレクティブ共済株式会社は、人間らしい働き方を保障する仕組みとして、ワーカーズ・コレクティブ以外の方にも利用できる保険商品を今年度は検討していきたいと考えております。

今年も皆様のご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

ワーカーズ・コレクティブ共済株式会社  
代表取締役 島田 純子



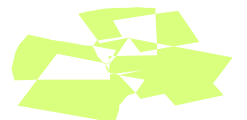
## 千葉県連合会でも W.Co 共済を取り組み始めました！

私たち千葉県連合会では、会員 W.Co がより働きやすい職場づくりを進めるためのインフラ整備として、2012年12月よりワーカーズ・コレクティブ共済（株）からの事務受託を理事会で決定し、連合会内の W.Co への共済推進活動をはじめました年明け2月より、連合会地域組織である各エリアや規模の大きな W.Co 単体などでの学習会からスタートしています。

各 W.Co からの反応は、労災との兼ね合いや現在加入している保険の契約期間などと比較しながら様子を見ているのが現状ですが、1年後には大勢のワーカーズが加入した報告ができるよう2013年度は学習活動を強化し進めたいと考えています。

ワーカーズ法の成立が未だ進まない社会状況の中において、自らが労働者性を認め合いながら経済的に助け合う仕組みとして、この共済を少しでも多くのワーカーズに理解を深め、たすけあいの輪が広がるよう活動を進めていきたいと思っています。

ワーカーズコレクティブ千葉県連合会  
専務理事 渡辺伽奈





## 事例紹介



### ◇ 就業中傷害（仕事中のけが）の申請

- ・バイクで通勤中、前輪付近に飛んできたペットボトルを避けきれず転倒し右手打撲、右膝挫傷（入居施設生活支援） 36歳 通院 30日 休業 5日
- ・野菜陳列台の段差の角に右足の甲をぶつけ、激痛が走った（生協店舗） 54歳 通院 1日



### ◆ 就業外傷害（仕事以外のけが）の申請

- ・バレーボールの試合中に他のプレーヤーとぶつかり、右側肋骨を強打した（家事介護） 56歳 休業 18日



### ◎ 病気休業の申請

- ・心原性脳梗塞（生協配達） 63歳 休業 60日
- ・心因反応（生協配達） 37歳 休業 30日
- ・白内障（家事介護） 51歳 休業 30日
- ・かぜ（入居施設生活支援） 71歳 休業 14日
- ・僧帽弁閉鎖不全症（家事介護） 60歳 休業 60日



## ミスターKの ワンポイントアドバイス

### その3「週刊誌の保険特集を切る！」

最近の週刊誌の特集などでは、世にはびこる様々な「保険」について、詳しく説明が加えられています。でも、これを読んでも素人では（プロでも）さっぱり理解出来ないでしょう。今、業界での流行りは、「大事な保険を見直しましょう！」というもの。このブームに乗って保険特集が週刊誌の記事になったのですが、正しく分析されていたとしても、余計に解らないのが今の保険です。

難しくすればするほど「保険コンサルタント」に利益誘導される…そんな誘導記事に見えます。保険を解らなくするこの手の解説記事には要注意！

家計支出の大きな部分なのに、つい財布のひもが緩んでしまうのが保険（共済）かも・・・万が一を煽って不要な特約を付けて解らなく、難しくするのが「業界の流れ」です。この流れを断ち切るキーワードは「保険（共済）は貯蓄にあらず」「リスク（万が一）に備え、必要な「万が一」だけを保険（共済）でカバーする」（\*純保険料と\*付加保険料を理解すればこの謎は解けますよ!）です。**「余計な万が一」を特約にする保険会社の「余計なお世話」を切り離せば保険（共済）はとてもシンプル** そのひとつが<ワーカーズ・コレクティブ共済>! 皆さんのニーズだけで、みなさんが作った保険（共済）です! 保険料は、以下の2つでできています。

\* 純保険料・・・保険料のうち保険金の支払いに必要な部分

\* 付加保険料・・・保険会社の利益を含む会社の経費（人件費・ビル購入費、家賃・CM宣伝費など）